

「医学図書館」執筆ガイド2022年版（69巻1号掲載）

「医学図書館」編集委員会

本誌は特定非営利活動法人日本医学図書館協会機関誌として、医学およびその関連分野における情報活動・サービス等に関する記事と読者間のコミュニケーションを重視した定例記事やニュース記事で構成します。

このガイドを執筆される際の実践的な指針としてください。

I. 執筆にあたって

1. 標題

- 1) 長くても具体的な標題が適切です。副題はできるだけ避けてください。
- 2) レビュー、論文、事例報告などの記事には、「…について」、「…に関する一考察」というような表現は避けてください。

2. 本文

- 1) 主観的、文学的、感覚的な表現、過度の丁寧語・謙譲語は適切ではありません。
- 2) あいまいな表現に注意してください。「ぐらい、ほぼ、らしい、たぶん」などのボカシ表現は避けるべきです。
- 3) 主語は読者にわかるように適切に記載してください。代名詞はあまり頻繁に使用すると読者に混乱をもたらします。
- 4) できるだけ具体的に表現してください。
例：「昨年…」→「2017年…」
- 5) 論文・報告・事例報告などは「である」調で書いてください。
- 6) インターネットのウェブサイトを示すときは、「Web サイト」または「ウェブサイト」としてください。
- 7) 表記ゆれにご注意ください。
例：「サーバ」「サーバー」
文中ではどちらかに統一してください。
- 8) 単語の省略形を使う場合は、最初に定義してください。
例：○○大学（以下、本学という）
- 9) 「特定非営利活動法人日本医学図書館協会」は、定義なく「JMLA」と記述してください。

3. 参考文献

- 1) 直接参照したものだけを挙げてください。関連性の薄い多くの文献を挙げて、参考文献リスト

を飾りたてないよう注意してください。

- 2) 文献リストは誰でもが入手できる公刊された資料から構成される必要があります。私信や未刊行資料は文献リストに挙げずに、本文中に記載してください。
- 3) 文献リストが不正確であれば、その記事の信頼性まで問題にされます。著者の責任で正確な記述に努めてください。

II. 記事のスコープ（以下、本誌での掲載順）

投稿は随時受け付けています。

1. 会員館紹介

現況や歴史・写真などを織り交ぜて、自館の紹介をしてください。新規会員館は随時、掲載しています。

2. 広場

特定のテーマに基づき、情報交換のための実務的な内容や同じ職業人としての日常を描いたエッセイを織り交ぜて掲載しています。

3. 読者からの手紙

本誌についてのご感想、本協会へのご意見など、個人の立場で自由に書いてください。

4. レビュー

学問的なレビューだけでなく、解説的ミニレビューも掲載します。ミニレビューは、文献数が20から40程度です。なお、多くの著作に触れながら考察を展開していく過程で、ご自身の意見と他者の意見が読者に区別しにくくならないよう注意してください。

5. オピニオン

医学およびその関連分野の情報専門家として、情報流通、情報サービスについて、提言や示唆、望むべきことなどをお寄せ下さい。

6. 解説

医学およびその関連分野の情報専門家として、情報サービスやものごとの分析結果を解説してください。さまざまな情報サービスに従事する人々が読んでも理解できるように、略語の使用に注意してわかりやすくまとめてください。文章だけでなく、関連図表や写真などを使うと効果的です。

7. 特集

編集委員会が企画したテーマに基づいて執筆を依頼し、集まった記事を掲載しています。論文または事例報告のよ

うな記事が主体となり構成されます。また投稿された記事でも、関連があるものは特集として扱う場合があります。

8. 論文

読者のために役立つ、調査や観察に基づいた研究的論文を掲載します。経過をそのまま報告するのではなく、目的や重要な結果を中心に読者に理解しやすいよう構成してください。

9. 事例報告

個人が独自のテーマで行った調査報告や、各館で行った活動の事例を、簡潔にまとめてください。一般的なこと、文献の引用で済むこと、論点からはずれた細かな事項などは、詳細に書きこむ必要はありません。また、文献的な考察に重点をおくよりも、まず正確に事例を伝えることを第一とし、読者にどのようなメッセージを伝えたいのかという視点から内容をまとめてください。

10. エッセイ

個人的な気持ちや意見を率直に表現してください。職業人として共感できる内容を幅広く掲載します。

11. 報告・JMLA 活動報告

研究会・研修会の開催や参加の報告、特定非営利活動法人日本医学図書館協会（JMLA）関連の活動内容・調査結果などを、参加していない人にも伝わるように簡潔にまとめてください。写真やプログラム掲載は効果的ですが、詳細すぎるものは必要ありません。

12. オン・ザ・スポット

エッセイや報告にあてはまらない、現在の関心事や話題となるトピックスを提供する場です。たとえば医学やその関連分野資料の展示会の訪問記などをお寄せください。

13. プロダクト・レビュー

新しい電子メディアや情報システムを対象に、製品を実際に利用してみて感じたことを、紹介してください。

14. Q & A

日常業務のなかで生まれた疑問に対して、Q & A の形式で、医学図書館員として知っておくべき情報を回答します。

15. レファレンス事例集

日頃のレファレンス業務の中から、多角的に探索した例等、他館にも参考になる事例を紹介してください。なお、このコーナーの基本的な構成は、質問、調査の経緯、回答、情報源、補足、ポイントとなっています。

16. Book Reviews

読者にすすめたい主に「医療」や「図書館」分野のブックレビューを取り上げます。なお、レビュー対象の資料は、過去に本誌においてレビューの掲載がなく、直近2年以内出版されたものです。

17. 東西南北（編集委員・編集協力委員担当記事）

日常業務に役立ち、自己研鑽につながる内外のニュース記事を掲載します。

図書館業務、図書館・情報学関連、出版関係、著作権問題、コンピュータ関連、その他、医学図書館に関連するニュースなどを紹介します。

18. ジャーナル・クラブ（編集委員・編集協力委員担当記事）

日常業務の参考となる内外の文献を紹介します。

Ⅲ. 執筆のための参考資料

1. 論文作成

斉藤孝, 西岡達裕. 学術論文の技法. 新訂版. 東京: 日本エディタースクール出版部;2005.

Bjorn Gustavii (畠山雄二訳). うまい!と言われる科学論文の書き方: ジャーナルに受理される論文作成のコツ. 東京:丸善;2005.

酒井聡樹. これから論文を書く若者のために. 究極の大改訂版. 東京:共立出版;2015.

諏訪邦夫. 論文を書いてみよう!. 東京:克誠堂出版;2005.

2. 英文抄録作成

成田滋. 英文抄録作成法: 世界へ向けての情報発信. 情報の科学と技術. 1999;49(5):244-9.

3. 文献検索, 管理

讃岐美智義. 超! 文献管理ソリューション. 東京:学研メディカル秀潤社;2011.

山崎茂明, 六本木淑恵. 看護研究のための文献検索ガイド. 第4版増補版. 東京:日本看護協会出版会;2010.

4. 発表

諏訪邦夫. 理系のための上手な発表術. 東京:講談社;2005.

Peter J. Gosling (徳田耕一, 北村房男共訳). 科学者のためのポスターセッションガイド. 東京:丸善;2001.

他におすすめの資料がありましたら、ぜひお知らせください。

Ⅳ. 著者校正時のお願い

著者校正は、十一房印刷工業からご連絡いたします。著者校正では原稿にない大幅な修正・加筆はご遠慮ください。大幅な修正とは、全体に亘る語句追加、文章追加、構成の変更（項目入れ替え、項目番号の追加など）、図表の追加などです。